

# エスアールジータカミヤ株式会社

平成 22年 3月期 決算説明会資料



**SRG Takamiya**  
SUPER RENTAL GROUP

# 平成22年3月期 連結業績

(単位 :百万円)

	H21.3期		H22.3期		対前年 増減率
	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	15,338	-	14,530	-	-5.3%
営業利益	1,797	11.7%	678	4.7%	-62.3%
経常利益	1,605	10.5%	607	4.2%	-62.2%
当期純利益	513	3.3%	337	2.3%	-34.3%
一株当たり純利益	46.58円	-	31.15円	-	-
一株当たり配当金	20円	-	20円	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	2,487	16.2%	2,602	17.9%	4.6%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	4,284	27.9%	3,280	22.6%	-23.4%

注) EBITDA」は、簡便的に「営業利益 + 減価償却費」にて算出しております。

## 平成22年3月期 事業環境

国内建設投資は前年比 10%の42.3兆円、民間投資は6.7兆円の大幅減少

平成20年度

建設投資額 : 47.2兆円

(内訳)  
政府投資額 : 17.1兆円

民間投資額 : 29.8兆円

平成21年度

建設投資額 : 42.3兆円  
(対前年 :10.4%減)

(内訳)  
政府投資額 : 19.2兆円  
(対前年 :10.4%増)

民間投資額 : 23.1兆円  
(対前年 :22.6%減)



(建設経済研究所 平成22年4月発表資料より)

建設大手50社国内受注高

12兆9872億円

9兆6105億円

特に民間非住宅投資は前年比 24.9%と近年では最大の落ち込みとなる  
大手建設会社の受注高も 26.0%と民間需要を中心に大幅減少

## 平成22年3月期の取組みと結果

### 売上高成長】

#### 既存工事分野の強化

- 建築分野は、設備投資の抑制、マンションの新規物件の大幅減少により減
- 橋梁分野は、継続大型現場で売上維持、新規着工案件は延期
- 地方への不況の影響が大きい(地場メイン)の連結子会社が苦戦

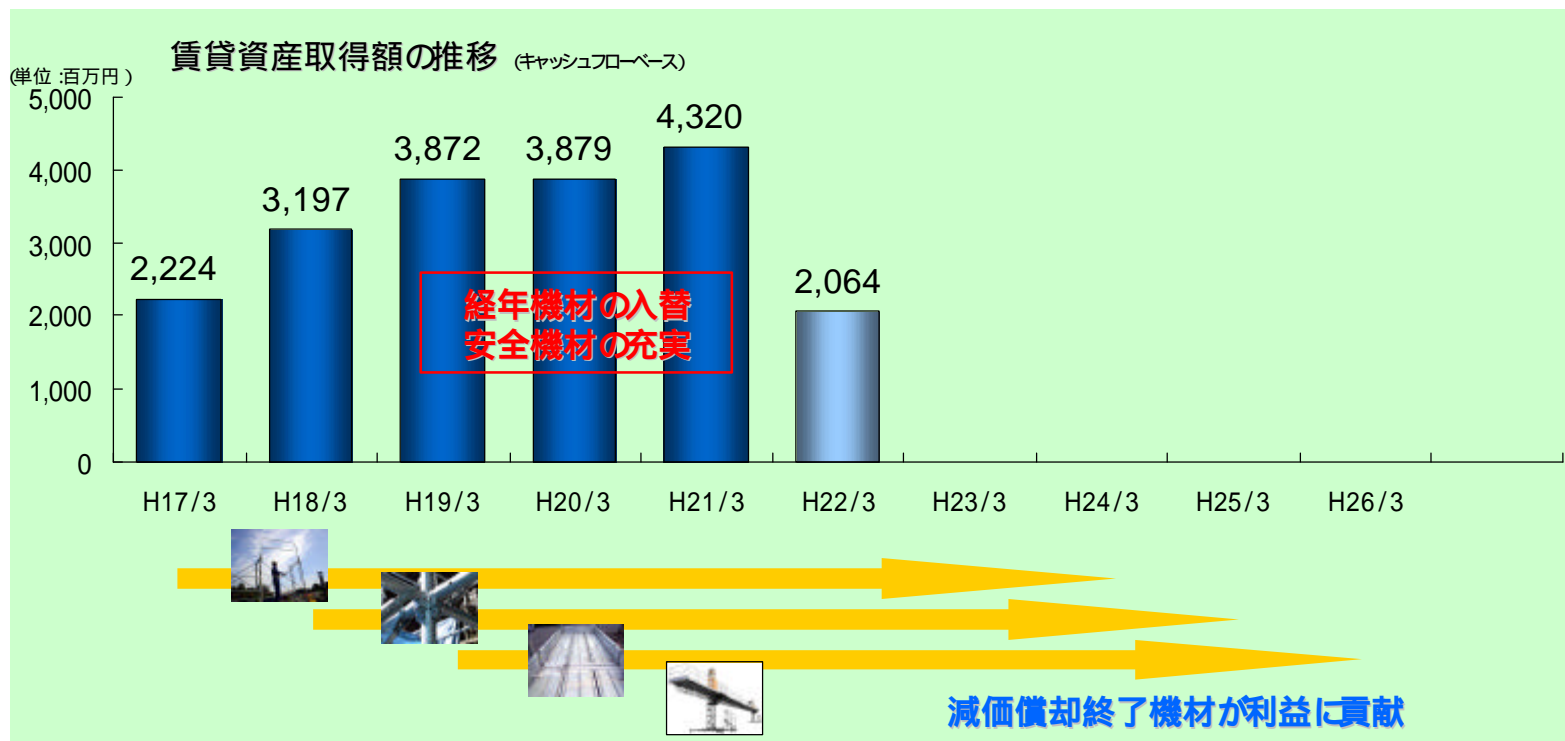
#### 新規工事分野の成長

- フロント分野は、大型現場の受注により前期対比で増加
- 川崎、青森、新規開設営業所は苦戦
- 「YTログシステム」は過去最高稼働率を記録
- 戦略商品「リフトクライマー」専任チームを設置、リニューアル営業を強化
- リニューアル分野全般的に苦戦

結果は売上高5.3%減、経常利益率「4.2%」は上場来初の最低水準

# 平成22年3月期の取組みと結果

## 賃貸資産への投資が一段落



過去数年間の賃貸資産への投資が今後の収益源

## 平成22年3月期の取組みと結果

### 収益性 (機材稼働率) の向上

#### 機材センターの移転 統廃合

- 奈良御所センター・大阪関空センターを閉鎖、大阪岸和田センターを新設
- 千葉柏センター・神奈川相模原センターを閉鎖、千葉大木戸センターを新設

#### 【これに加え】

- 横浜支店と川崎営業所を統合し、川崎センター内に神奈川営業所として開設

#### 機材管理を中心とした新システムの構築

- 機材稼働率を向上、請求業務の効率化

移動運搬費  
地代・家賃  
システム投資  
約6億円

先行投資は機材稼働率向上が目的 稼働率向上で収益性UP 投資回収

#### 【財務体質の改善】

石島機材製作所M&A案件成立 (9億円) も負債は前期比2億円増に留める。

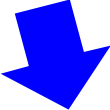











投資抑制による一時的な収益でなく 長期的に収益を生む体制を作る投資を実施



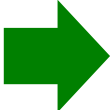



# 平成23年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	第2四半期予想		対前年 増減率	期末予想		対前年 増減率
		売上高比 率			売上高比 率	
売上高	<b>7,060</b>	-	1.1%	<b>14,900</b>	-	2.5%
営業利益	<b>230</b>	3.3%	53.2%	<b>890</b>	6.0%	31.2%
経常利益	<b>120</b>	1.7%	70.9%	<b>700</b>	4.7%	15.2%
当期純利益	<b>20</b>	0.3%	91.5%	<b>350</b>	2.3%	3.7%
1株当たり当期純利益	<b>1円85銭</b>			<b>32円32銭</b>		
1株当たり配当金	-			<b>20.00円</b>		

## 進行期 (平成 23年 3月期) の見通し

	建築 (新築)	橋梁 (新築)	土木	方ト	修繕	防災
市場性						
(前回) 2009/12/03						

SRG シェア						
SRG 注力						

(表の矢印「」。記号」は当社判断です。)



## 平成23年3月期の取組み

### 大型物件の受注

- ・リア実験線
- ・第二東名高速道路
- ・北陸新幹線

### 新分野の躍進

- ・リフトクライマーによる修繕工事の受注
- ・工事部による材工一括請負



## 新たな取組み

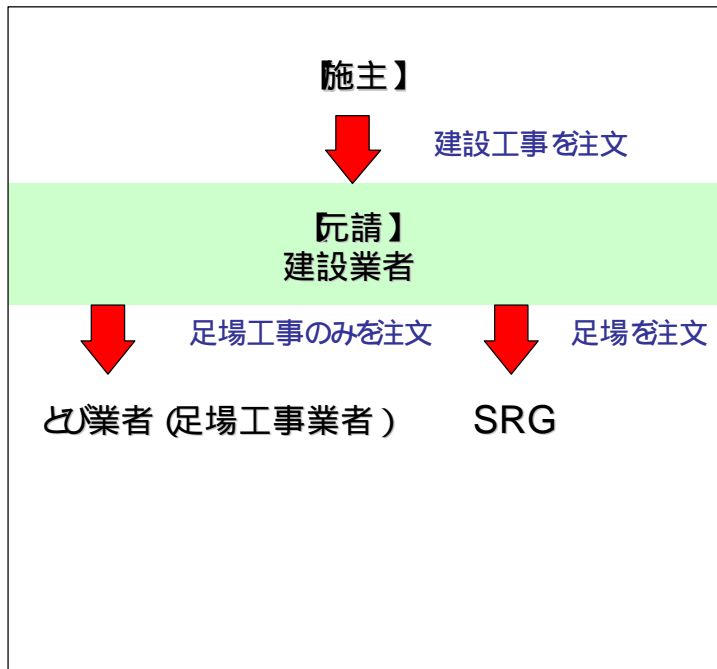
### 工事を新設し「レンタル」に加え「材工請」を開始

#### 従来からの受注形態

##### 【レンタル】



##### 【レンタル/ 材工分離発注】



#### 新しい受注形態

##### 【材工請】



ユーザーニーズに応え受注形態・足場供給体制を多様化

## 従来からの取組み

従来からの取組みも継続し、事業環境にあわせ柔軟に対応

### 既存事業領域の強化



安全機材を安定供給  
営業エリア・手法の開拓

### 新規事業領域の開発



新機材の採用・開発  
新市場の開拓

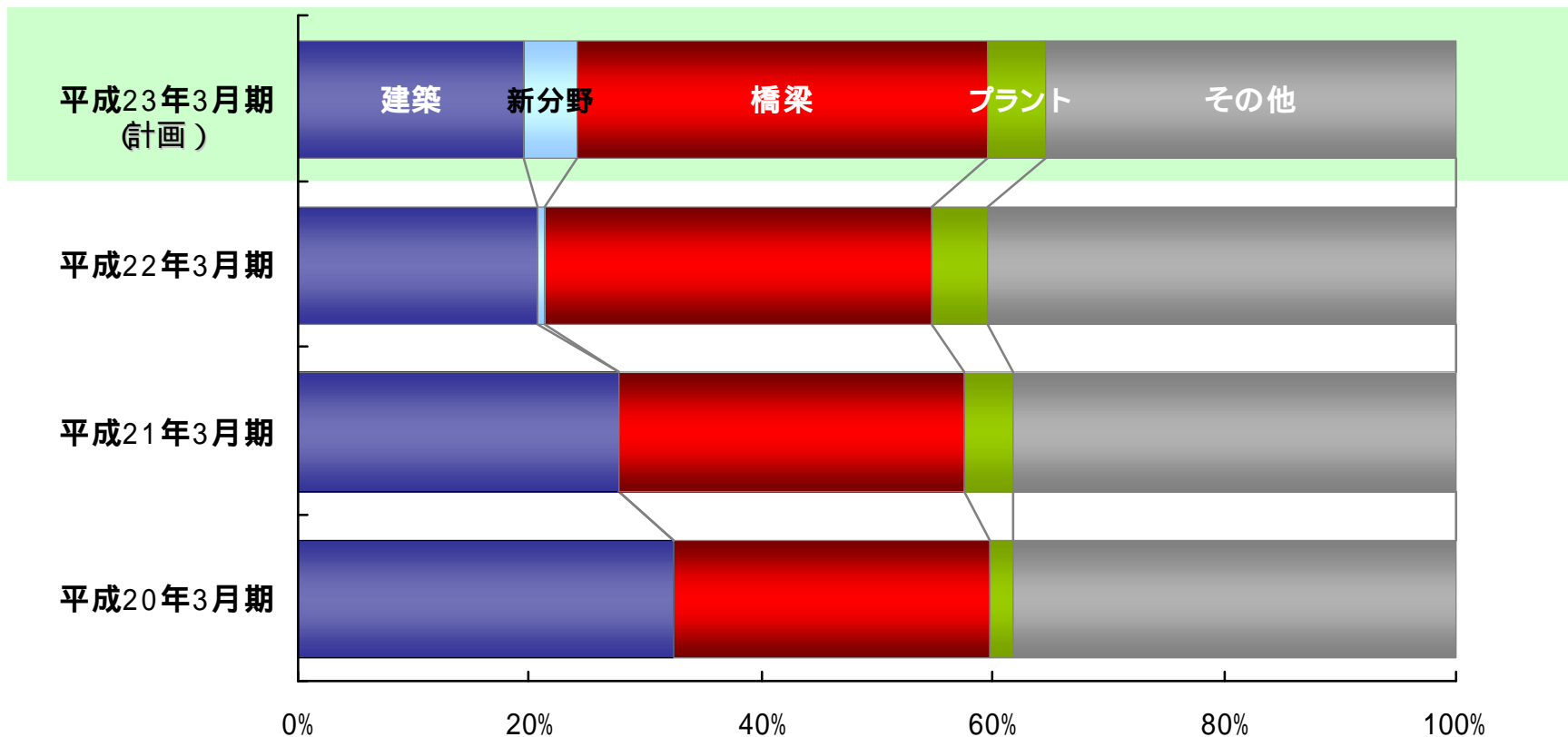
### 収益向上 経営基盤強化



負債圧縮  
機材センターの移転・統合  
基幹システムの刷新

## 工事分野別売上高構成比

橋梁・プラント・新規分野は増収、新築マンション・ビルなど(建築分野)が減

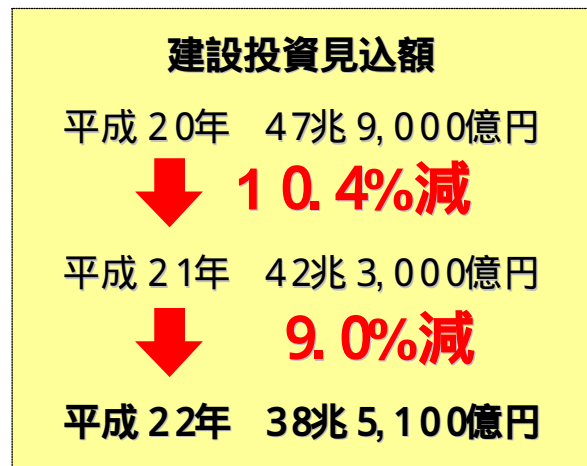
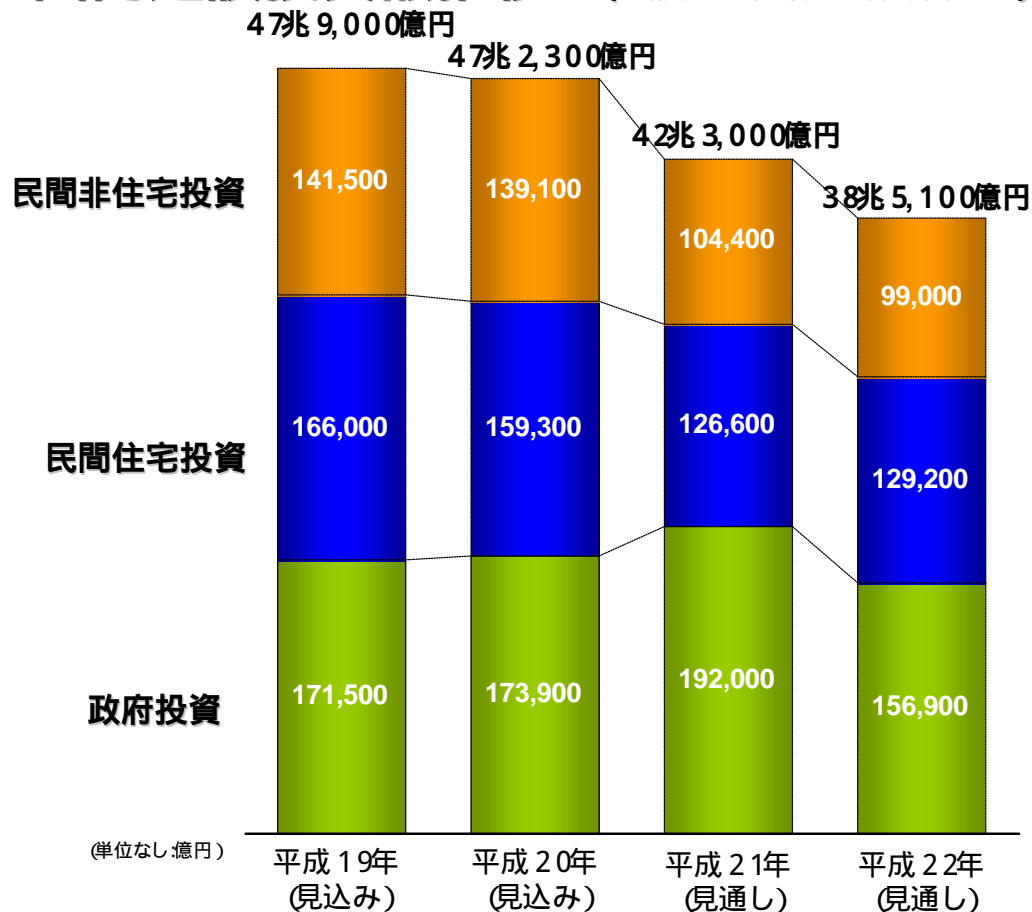


(その他には子会社売上高等が含まれます。)

## 参考資料

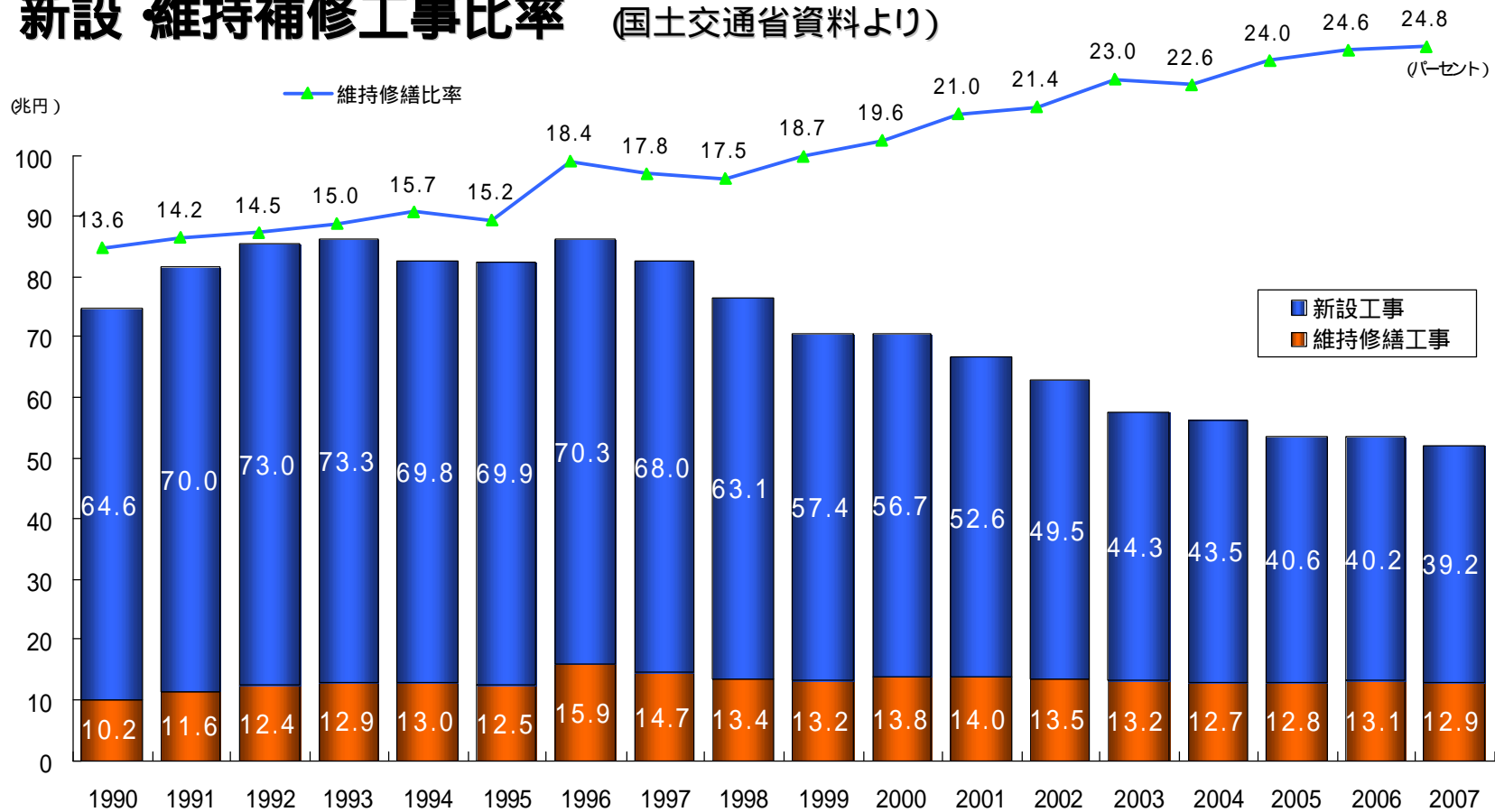
## 事業環境の推移

### 国内建設投資額推移 (建設経済研究所資料より)



# New から Renew へ

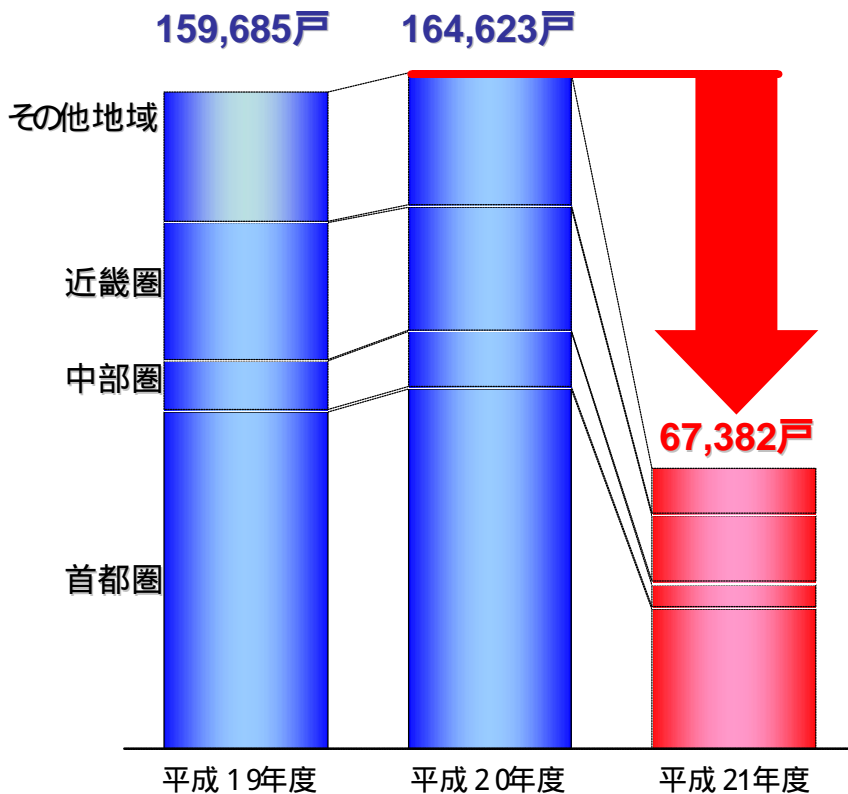
## 新設 維持補修工事比率 (国土交通省資料より)



(出所:国土交通省)

# New から Renew へ

## マンション着工戸数推移 (国土交通省資料より)



前年度(4月~3月)比  
マンション着工戸数  
**約60%減**  
(前年度の半分以下)



# New から Renew へ

## 民間非住宅建築着工床面積の推移

(建設経済研究所資料より)

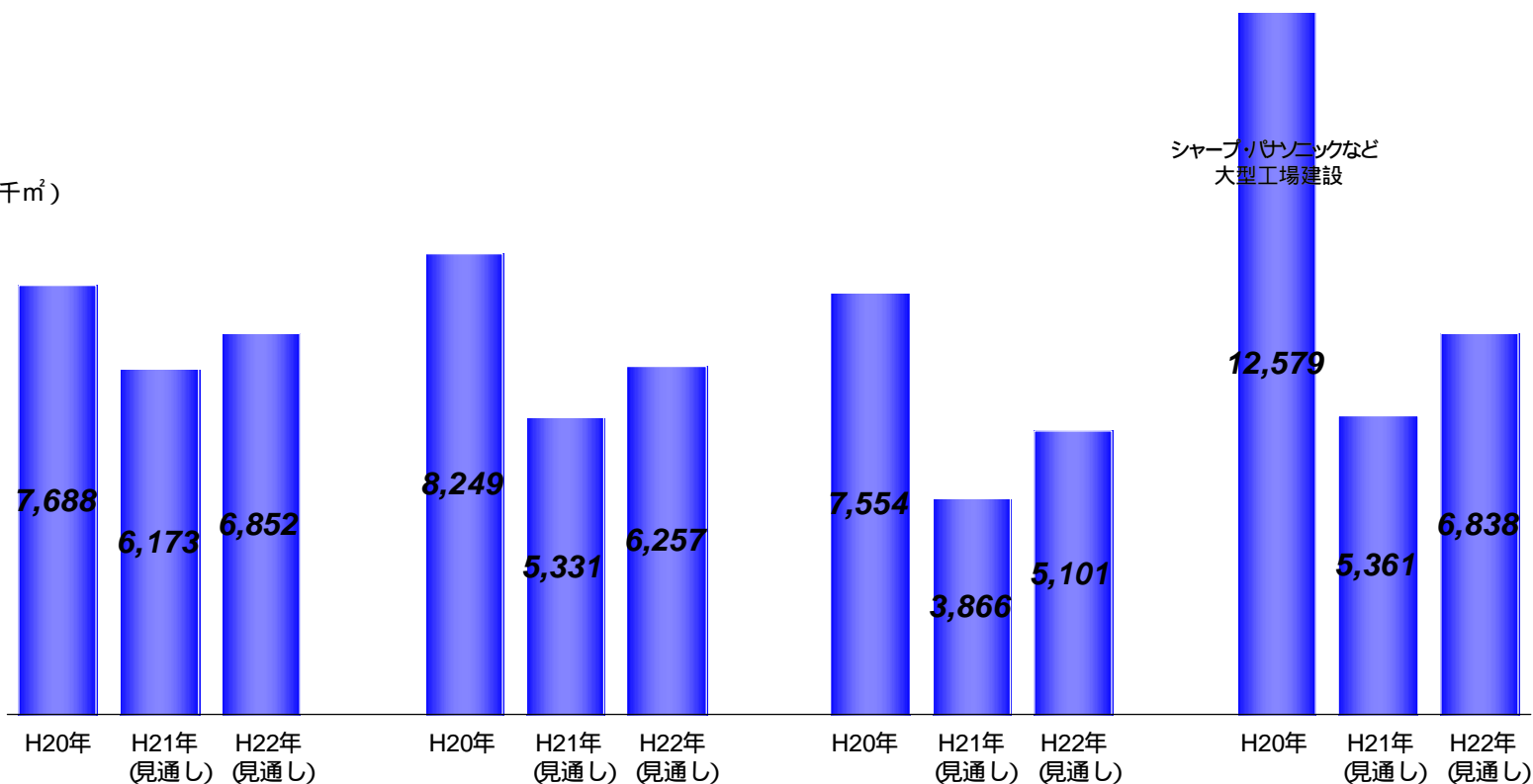
オフィス

店舗

倉庫

工場

(単位 : 千㎡)



# New から Renew へ

## 維持補修市場への期待

- バブル期に建設された高層マンションの大規模修繕時期が到来。
  - ・平成 25年に急増し、平成 35年には年間 160棟が発注の見込み
- 橋梁老朽化による崩落の危険性が指摘され、改修・架け替え需要増見込み。
  - ・橋梁保全市場は平成 19年度において前年比 13.8%増の2017億円。
  - ・橋梁工事市場の約 17%を占める成長。(橋梁市場成長は前年比 6.8%)
- 東海道新幹線は開業46年目。リニア開業前の2018～2027年に約1兆円を投じて大規模改修する計画。
  - ・約1,500あるトラス橋を全て取替え、計約150kmのコンクリート橋、計約70kmのトンネルも、取替えと同等の効果をもたらす工事を実施する。

# New から Renew へ

## 高層マンション大規模修繕工事

**平成 35年には  
年間 160棟の修繕工事が発生すると予想**

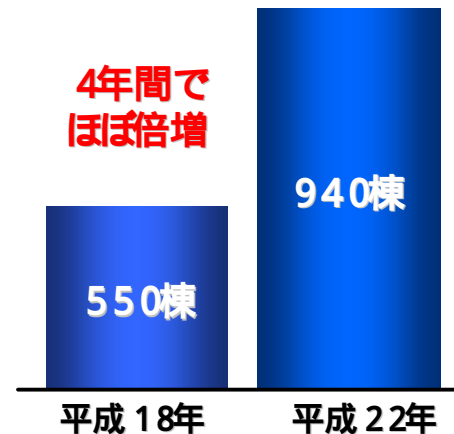
(東京カンテイ資料より)



(参考)マンション大規模修繕工事の時期は、竣工後 10～15年とされています。  
主に屋上防水シートの保証期間が10～15年で、そのタイミングに合わせて修繕工事をするため。

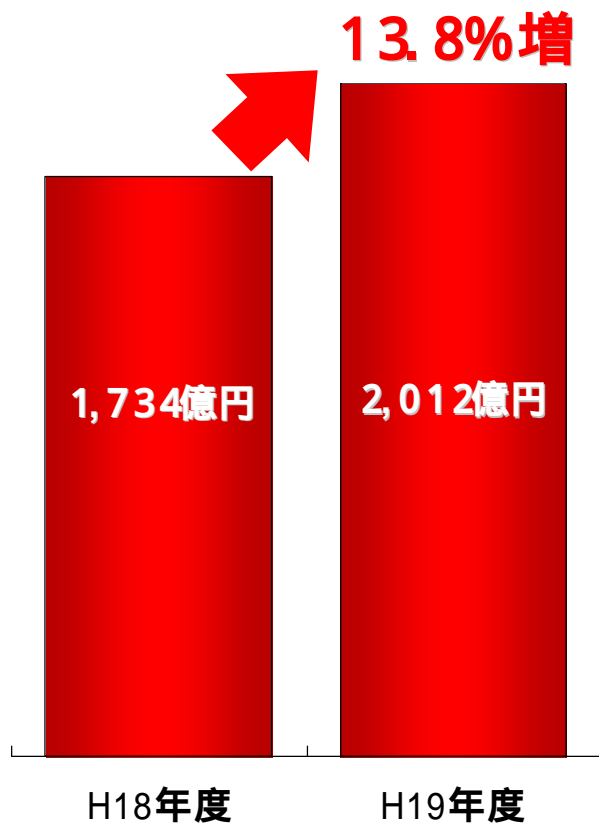


### 60メートル以上の高層マンション数



# New から Renew へ

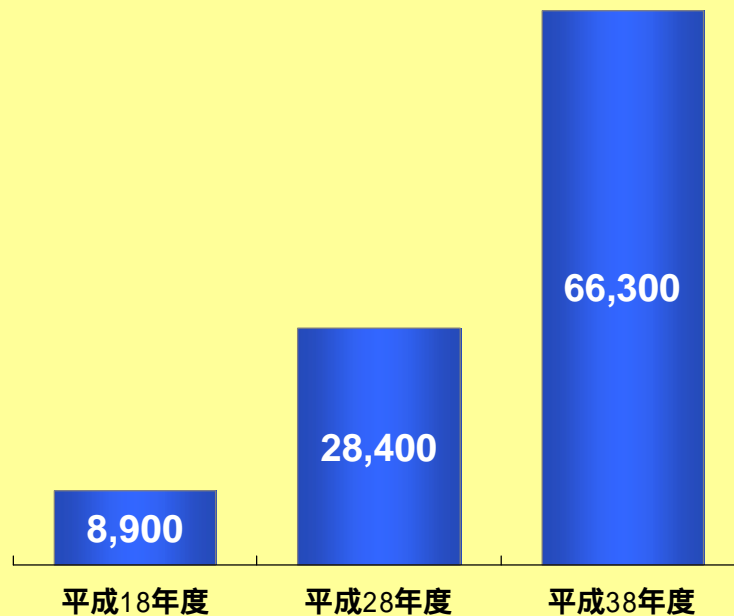
## 橋梁保全工事市場規模



一般的に橋の寿命は50年とわれ崩落が危惧されています。

### 建設後50年以上経過する橋の数

経年化に加え、耐震上不安視されている橋が多数存在し、橋脚の耐震補強工事等が実施されています。



注) H18年度市場規模は、橋梁新聞資料を元に当社で算出 (橋梁新聞資料より)

# 移動昇降式足場工法 「リフトクライマー」

## 「リフトクライマー」は環境配慮型の画期的な足場工法です。

### 住環境を損なわない

施工箇所に足場が移動するので、施工箇所以外の日照や景観を損なうことはありません。長期にわたる大規模修繕工事でもストレスを感じさせません。



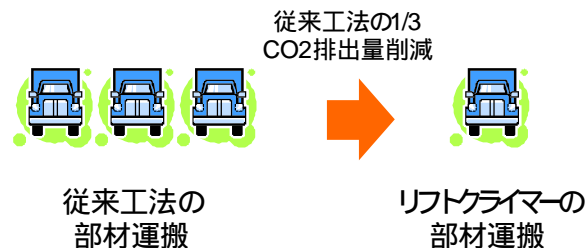
従来工法  
(枠組足場 + 養生シート)



昇降式足場工法  
(リフトクライマー)

### 自然環境にも配慮

CO2 (二酸化炭素) 排出の一因となるトラックによる運搬も部材数量が従来工法に比べ少ないため削減できます。



### 環境問題にも貢献

ダイオキシン問題で対応が急がれる煙突解体工事においても、足場の設営解体が短期間で可能なため、多くの工事が実施可能となります。



安全性にも優れているため  
工事作業 環境も改善されます。

## リフター施工事例



マンション大規模修繕



オフィスビル新築



倉庫建設



橋脚修繕



煙突解体

## 新分野への進出

成長が見込まれる「ニューアル」市場に軸足を移行

- *New* から *Renew* へ

新たな市場への積極的な展開

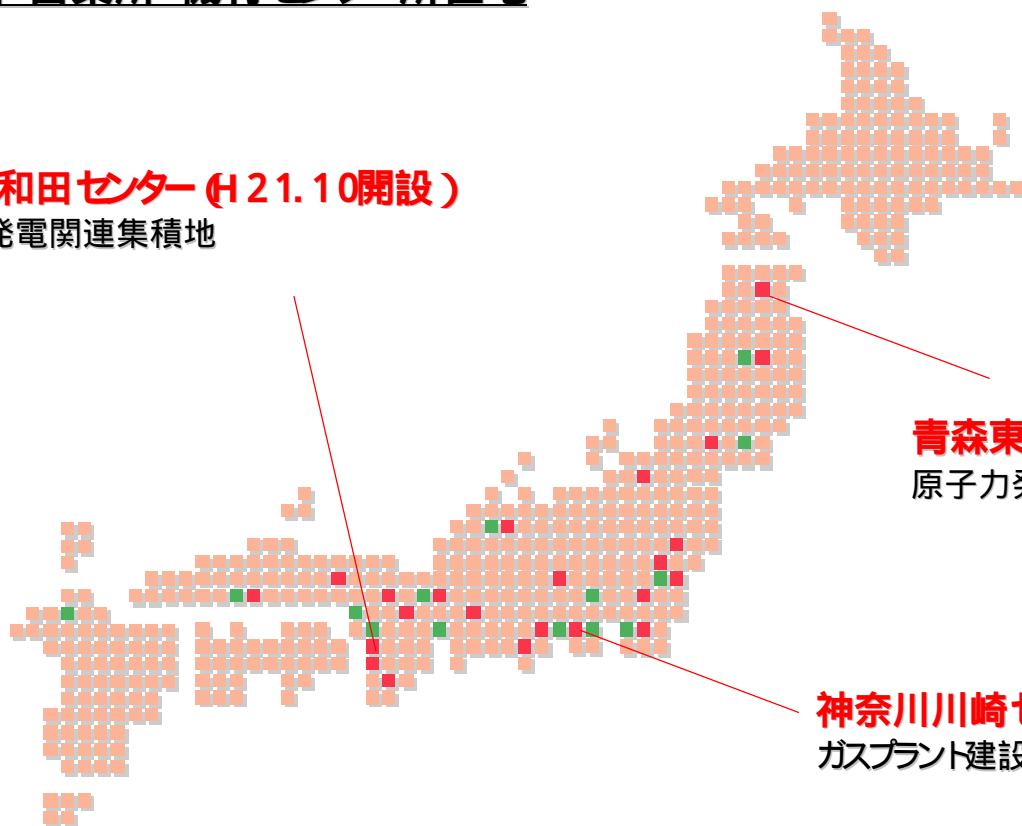
- CO<sub>2</sub>排出規制により「新型エネルギー」分野が注目される
  - ・原子力発電 / 太陽光発電 など
- 「ゲリラ豪雨、大型地震」などに備える「防災関連」・「災害対策」
  - ・地下貯水施設、雨水溝拡張など
  - ・地すべり防止 斜面防災工事

## エネルギープラント集積地を中心に積極出店

### 支店・営業所 機材センター所在地

**大阪岸和田センター (H21.10開設)**

太陽光発電関連集積地



■ 支店・営業所

■ 機材センター

**青森東通センター (H20.12開設)**

原子力発電所建設 (原子力関連集積地)

**神奈川県川崎センター (H21.7開設)**

ガスプラント建設予定 (国内最大プラント集積地)



## 既存市場でのシェア保持

成長が見込まれるリニューアル市場に軸足を移行  
新たな市場への積極的な展開

## 既存市場でのシェア保持

- 安全性・施工性・環境配慮に優れた機材で大手建設会社との取引を拡大
- 技術力と圧倒的な機材保有力で橋梁分野でのシェアを堅持

セイフティワーク



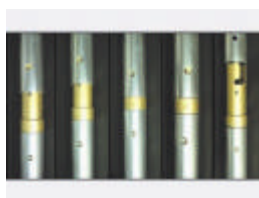
足場板の裾や隙間をなくす事で、部材・工具等の落下を防止し、つまずきや転落事故を未然に回避します。

スカイホルダー



従来建柱に簡単に取付け可能なスジカンの隙間を埋める二段手すり

SPジョイント



パイプを簡単にジョイントできるだけではなく、ロックを目視できる安全商品です。

スカイジャック



耐荷重設計で作業者の落下を防ぎ、安全確保の為に厚生労働省が策定した手すり先行工法対応商品です。

ロック付チェーン



取り付けたフックが外れない安全構造となっており、脱落防止措置が不要な為、施工性も向上する新機能商品です。

ネオシステム



組枠式手すり先行専用足場。先行手すり二段手すり内蔵の厚生労働省ガイドライン準拠商品です。

# グループネットワーク

## 地下工事から超高層まで対応するグループネットワークの構築

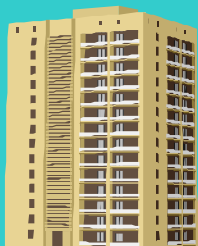
地域子会社



**低層建物**

(戸建住宅、など)

SRGタカミヤ



**中高層建物**

(マンション・ビル・学校、など)



**橋梁**

(鉄道 橋 高速道路、など)

SNビルテック



**都市型土木**

(処理場、など)

石島機材製作所

H21年8月  
子会社化



**地下工事**

(トンネル・共同溝、など)



**ファント**

(発電所、など)

青森アトム



**超高層建物**

(超高層マンション・煙突解体、など)

『リフトクレーン』

# IRコンタクト

**エスアールジータカミヤ株式会社** 経営企画室 広報・IR担当 川畑

電話番号： 06-6375-8815

ファクシミリ： 06-6375-8827



当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： [ir@srg.jp](mailto:ir@srg.jp)


住所： 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー21階

本資料は、平成22年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き平成22(2010)年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。

## 会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社	
設立	昭和44 (1969) 年6月21日	
代表者	代表取締役社長 高宮一雅	
資本金	6億7,975万円	
従業員数	連結 :448名 単体 :334名 (平成22年3月末時点)	
登記本社 営業拠点	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー <b>【支店】</b> 東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡 (計5) <b>【営業所】</b> 盛岡、鹿島、市原、神奈川、北陸、京滋、広島 (計7) <b>【機材センター】</b> 青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川川崎、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、名古屋瀬戸、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条、広島志和 (計22)	
連結子会社	(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック、(株)青森アトム、(株)石島機材製作所 (計8)	
株式上場	平成17年05月 JASDAQ証券取引所 (注)平成20年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました 平成19年12月 東京証券取引所市場第二部	